

JAERA

NEWS LETTER

一般社団法人日本自動車リサイクル機構 ニュースレター

- 巻頭言 / 第2回 景況調査の結果について…P1 □第2回 景況調査の結果について…P2・P3
 □自動車リサイクル士更新講習会の結果と次年度の開催について…P4 □第2回自動車リサイクル推進
 会議の開催結果について / 宮城県中古自動車解体再生部品卸協同組合 (MTK) の活動紹介… P5
 □2020年度 駆動用HVバッテリー共同 出荷事業1月出荷状況と下期累計 / 1月新車販売・使用済自動車発
 生台数… P6 □鉄スクラップ最新情報… P7 □行事予定・お知らせ / 編集後記… P8

vol. 144

第2回 景況調査の結果について

01

一般社団法人 日本自動車リサイクル機構 第2回 景況調査報告 2020年10月～12月期 (概要版)

前期比では全体的に改善も、価格競争の激化等で厳しい状況続く

集計・分析：東京都市大学環境学部 准教授 木村眞実

前期 (2020年10～12月期) から四半期ごとに会員対象とした景況調査を開始することとなった。本調査結果が企業経営の羅針盤となればと考える。継続して、多くの企業様にご回答への協力を頂ければ幸いである。なお、本文中の「△」はマイナスを意味する。

【調査要領】

- ①調査時：2021年1月7日～1月21日
- ②対象企業：日本自動車リサイクル機構会員企業
- ③調査の方法：FAX・Webの送受信による自計記入を求めた
- ④回答企業数：469社のうち133社(28.3%)から回答を得た
(うち、有効回答数130)
- ⑤平均従業員数：役員を含む正規従業員数26.9人
派遣社員・臨時・パート・アルバイトの数8.4人

※DI値 (DI: Diffusion Index) 「良い」と答えた割合から「悪い」と答えた割合を引いたもの

■事務局より

次回2021年1～3月期の調査につきましては、2021年4月1日(木)から4月15日(木)で予定しております。皆様、引き続きご協力の程お願いいたします。

また、今回の調査結果の詳細につきましては以下の「第2回景況調査報告2020年10月～12月期報告書」をご参照ください。

■報告書はこちら

→ <http://www.elv.or.jp/media/20/20210218-keikyotyousa2.pdf>

巻頭言

昨年は冬将軍が来ないまま春になりましたが、今年は来ないどころか何人の冬将軍様が来るのでしょうか。

北日本や北陸を中心に幾度となく大雪が降り、あちらこちらで雪の影響で立ち往生やホワイトアウトによる多重事故のニュースが目立ちます。

この冬にこんなに雪が降るとは思ってもみませんでした。実は昨年の秋にお客様から「今年はカマキリが高いところに卵を産んでいるから大雪の冬になるよ」と教えられました。「これ本当に当たるんだから」とまで。

昔からの言い伝えは天気予報並みに当たるんだと今更ながらに感心しています。

ちなみに一昨年のカマキリは低い所に卵を産んだそうです。

<広報部会 田村 幸男>

《編集・発行責任者》

一般社団法人日本自動車リサイクル機構
広報部会長 永田 則男

《お問い合わせ先》

一般社団法人日本自動車リサイクル機構
〒105-0004
東京都港区新橋3丁目2番2号
TEL: 03-3519-5181
FAX: 03-3597-5171
MAIL: jaera-homepage@elv.or.jp
HP: <http://www.elv.or.jp/>

(1) 概況（業況判断・売上高・経常利益・資金繰り）

以下の図1から図4は、前年同期（2019年10月～12月）と比べた、業況判断、売上高、経常利益、および資金繰りについてである（図1～4参照）。回答者が「良い」と答えた割合から「悪い」と答えた割合を引いたDI値は、業況判断が△12（前回調査△52）、売上高が△9（前回調査△46）、経常利益が△3（前回調査△42）、および資金繰りがゼロ（前回調査△21）であった。

図1 前年同期と比べた業況判断 :DI 値△12

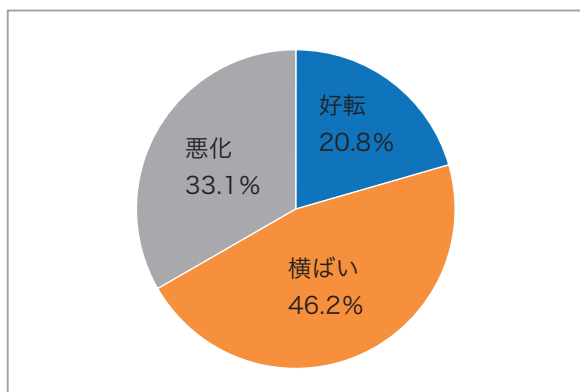


図2 前年同期と比べた売上高 :DI 値△9

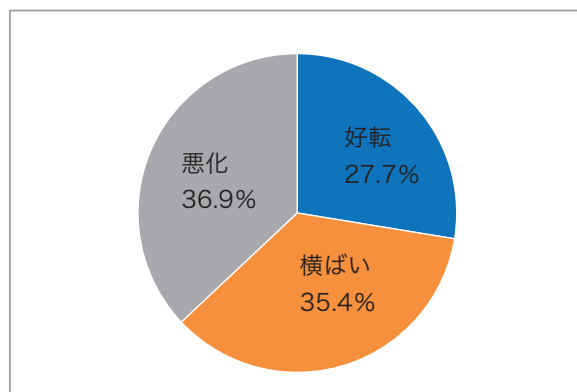


図3 前年同期と比べた経常利益 :DI 値△3

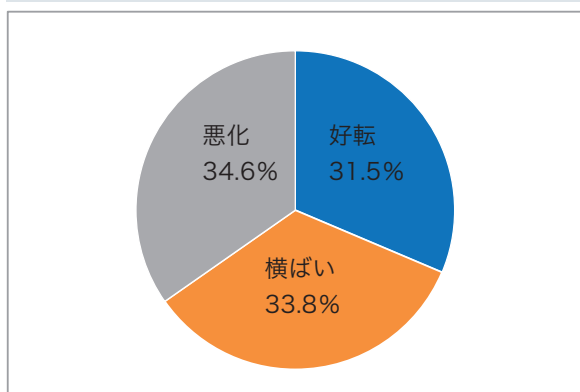
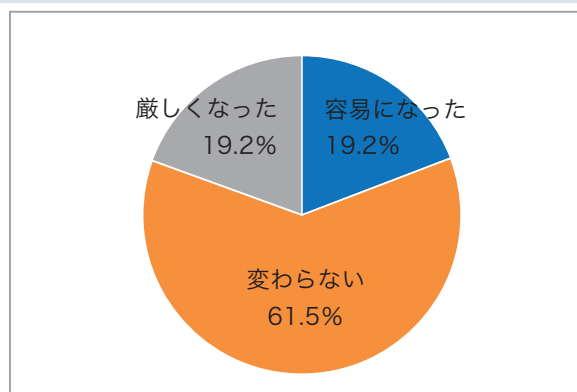


図4 前年同期と比べた資金繰り :DI 値ゼロ



(2) 金融機関の姿勢変化の有無と内容

金融機関の姿勢変化の有無について、「ある」が14社・11%（前回調査16社・10%）であり、「変わらない」が89社・68%（前回調査113社・73%）、「わからない」が27社・21%（前回調査27社・17%）であった（図5参照）。

さらに、姿勢変化の具体的な内容を複数回答可で質問したところ、貸付攻勢が10社（前回調査13社）、新たな貸し渋りが2社（前回調査1社）、経営指針（経営理念）の重視が1社（前回調査1社）であった（表1参照）。

図5 金融機関の姿勢変化

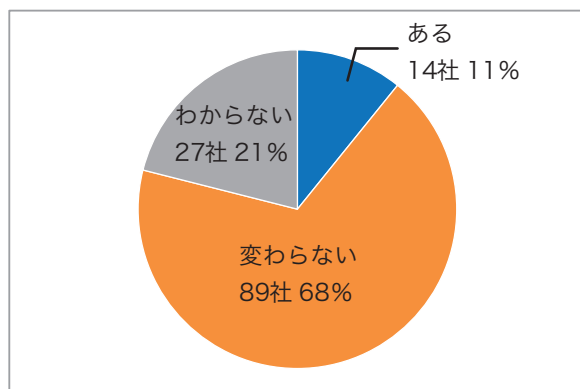


表1 金融機関の姿勢変化の内容（複数回答可）

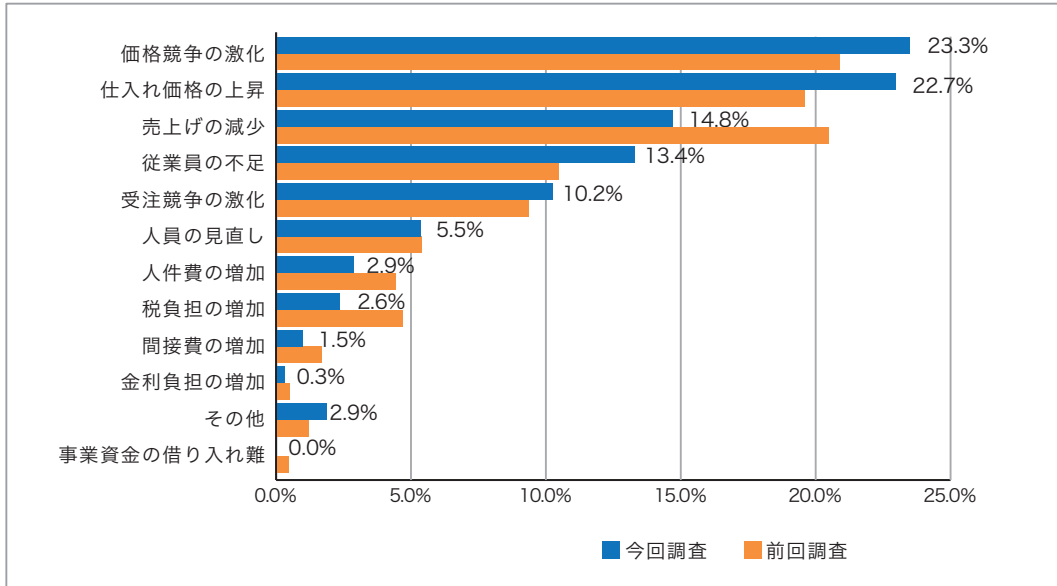
貸付攻勢	10社
新たな貸し渋り	2社
経営指針（経営理念）を重視するようになった	1社
回答なし	2社

(3) 経営課題と取り組み等

① 経営課題

経営上の課題として深刻なものを上位3つまで選択するという問いに対する回答は、価格競争の激化（80社・23%）、仕入れ価格の上昇（78社・23%）、売上の減少（51社・15%）、が上位であった（図6参照）。

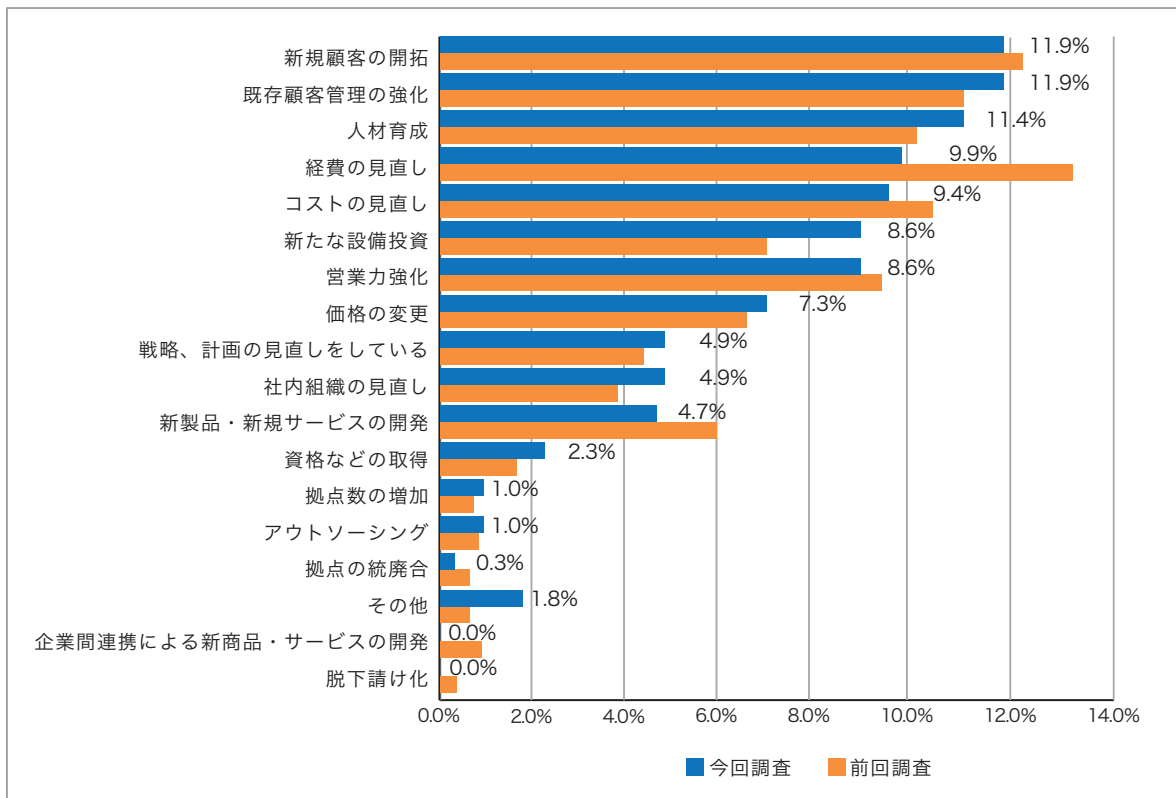
図6 経営上の課題（上位3つまでの複数回答）



② 現在の取り組み

現在取り組んでいることを上位3つまで回答するという問いに対しては、新規顧客の開拓（46社・12%）、既存顧客管理の強化（46社・12%）、人材育成（44社・11%）が上位であった（図7参照）。

図7 現在取り組んでいること（上位3つまでの複数回答）



自動車リサイクル士認定更新講習会の全日程が終了しました！

“自動車リサイクル士”の資格をお持ちで、2021年3月末に資格の有効期限を迎えられる方を対象とした「自動車リサイクル士認定更新講習会」につきまして、無事全ての講習日程が終了いたしました。

今回は、コロナ禍であることから、会場で受講するのではなく、スポーツ中継のように講習をライブ配信し、それを受講者の方がパソコンやタブレット端末を用いて視聴するサテライト方式での開催となりました。WEB上での講習という初の試みではございましたが、最終的に333名もの方々に受講いただきました。誠にありがとうございました。

受講後、郵送にてご送付する“認定書”や“認定カード”等は、発送準備が整い次第、順次発送しておりますので、到着までお待ちくださいますようお願いいたします。

なお、今回対象者の方（資格の有効期限が2021年3月末までの方）で都合等により受講ができなかった皆様におかれましては、このような状況であるため、特例として“次年度の更新講習まで資格の有効期限を延長する”こととしております。どうぞご安心ください。

次年度の更新講習につきましても、今年度と同様のサテライト方式で実施する予定ですので、詳細が決まり次第ご案内させていただきます。今年度受講できなかった皆様、次年度に資格の有効期限を迎えられる皆様のお申込みを心よりお待ちしております。

自動車リサイクル士精度認定更新講習会 開催結果

開催回	開催日程	受講者対象地域目安	申込受付数
第1回開催	2020年10月7日(水)	北海道地区	43名
第2回開催	2020年10月28日(水)	東北地区	40名
第3回開催	2020年11月12日(木)	近畿・中国・四国地区	59名
第4回開催	2020年11月27日(金)	沖縄地区	44名
第5回開催	2020年12月15日(火)	中部・北陸地区	45名
第6回開催	2021年1月21日(木)	関東地区	52名
第7回開催	2021年12月16日(火)	九州地区	50名
合計			333名



※実際に受講された方の感想を前号1ページ目に掲載しております。
http://www.elv.or.jp/media/Rakude/20210129095912-Vol.143_20210129.pdf

【資格を新たに取得されたい皆様】

次年度には“自動車リサイクル士”の資格をお持ちでない方を対象とした「自動車リサイクル士新規認定講習会」も併せて実施予定です。こちらにつきましても現在、スマホ・タブレット・パソコン等を用いて講習を受けていただくような方法で検討中です。詳細が決まりましたら皆様へご案内させていただきます。

第2回自動車リサイクル推進会議の 開催結果について

03

前年の11月に引き続き、日本自動車リサイクル部品協議会（リ協）、日本トラックリファインパーツ協会（JTP）、当機構（JAERA）の3団体による「第2回自動車リサイクル推進会議」が開催されました。

主な内容として、“自動車リサイクル法 15年目の評価検討への機構の意見”や“自動車に使用されているガラスの解体インセンティブにおける機構の提案”の2点を報告し、それに対する考え方など、各団体の出席者の方々と活発に意見を取り交わしました。

自動車を取り巻く環境が大きく変わりつつある今、団体間の繋がりをより強固にし、業界が一枚岩となって今後の変化に対応していくことが大事であるという3団体の共通認識をもって閉会となりました。



【会議の様子】

【出席者】リ協：佐藤会長、土門副会長、針ヶ谷副会長、長妻事務局長

JTP：新井代表理事、小田副代表理事、尾畑副代表理事、事務局：竹中様

JAERA：酒井代表理事、永田副代表理事、石井副代表理事、木内副代表理事、埜村副代表理事、平地ブロック長会議長、事務局：奥野、京野

宮城県中古自動車解体再生部品卸協同組合 (MTK) の活動紹介

04

MTKでは、2019年に組合として初めて中期ビジョンを策定し、「ASRの削減」・「ブランド化」・「一般ユーザーの認知度アップ」の3点を方向性として掲げました。

そのなかの、「一般ユーザーの認知度アップ」について、廃車を考えている一般ユーザーをターゲットにしたポスターを作成しました。“目に留まるデザイン”コンセプトとしたこのポスターは、漁師募集のポスターからインスピレーションを得ております。また、ポスターのみならず、気軽に配布できるようポケットティッシュも作成し、ポスターと併せて組合員へ送付予定です。広報媒体は、きちんと流布することが大事ですので、今後の活動も検討中です。

更に、組合員から集めたキャッチコピーを活用して、一般ユーザーにも分かりやすいようにホームページを改良しました。また、買取や自動車リサイクルをPRするのぼりも制作し、組合員に配布して、ご活用いただいております。

組合員は小規模の会社が多く、個社でできることは限界がありますが、組合としての横で繋がりを生かして、それぞれが、様々な意見・アイデアを出してみんなで取組むことで、大きな力となると考えております。



【作成したポスター】

2020年度 駆動用HVバッテリー共同出荷事業 1月出荷状況と下期累計

05

当機構の「駆動用HVバッテリー共同出荷事業」につきまして、2020年度1月集荷分及び下期の累計を以下のとおりご報告いたします。

参加会社数	プリウス 20	プリウス 30	プリウスα	レクサス CT200H	アクア / ヴィッツ	カローラアクシオ / フィルダール	レクサス GS450H	クラウン HV GWS204
14社	17	60	2	0	24	0	0	1
40社	63	157	6	0	61	1	0	3

クラウン HV AWS210	SAI/レクサス HS250H	カムリ HV	日産デュトロ / ブルーリボン	ノア/ヴィクシー / エスファイア	シエンタ HV	プリウス 50	不良品 A~C	合計
1	1	1	0	0	0	0	0	107
6	4	4	0	1	0	1	17	324

上段：1月出荷数 下段：2020年度下期累計 単位：個

□引き続き皆様のご参加をお待ちしております。よろしくお願いたします。
□2020年度上期の詳細データ・事業説明資料はこちら↓
<http://elv.or.jp/index.php?itemid=1700>

1月新車販売・使用済自動車発生台数

06

■2021年1月度 新車販売台数 384,442台 前年同月比 106.8%

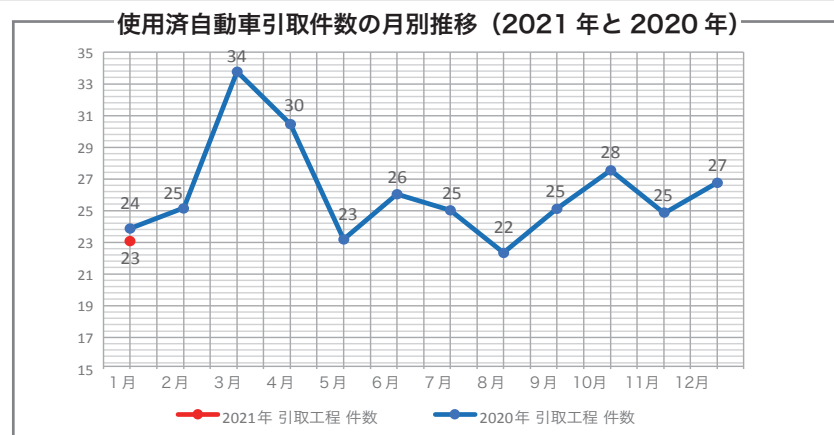


過去の1月新車販売台数推移

年累計	台数	前年比(%)
2021年 (1月まで)	384,442	106.8
2020年	4,598,615	88.5
2019年	5,195,216	98.5
2018年	5,272,067	100.7
2017年	5,234,165	105.3

※出所：一般社団法人 日本自動車販売協会連合会

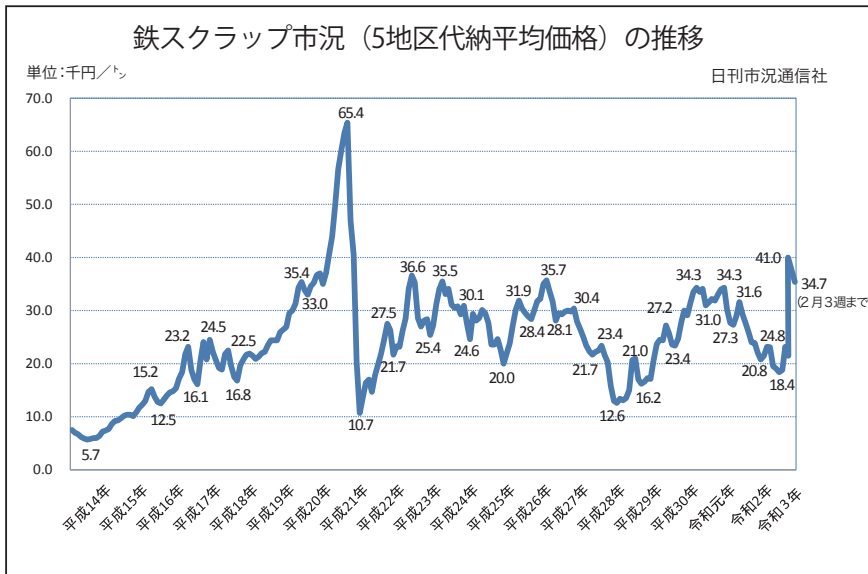
■2021年1月度 使用済自動車引取 (電子マニフェスト) 実施状況



引取件数	233,981件 (前年同月比 98.0%)
フロン回収工程	209,817件 (前年同月比 97.4%)
解体工程	242,257件 (前年同月比 96.4%)

※出所：公益財団法人 自動車リサイクル促進センター

2月第3週（16日）の鉄スクラップ動向



2月16日の国内スクラップ炉前実勢価格 (中心値)

		H2	気配
関東	北関東	35,500～38,000	値上がり
	南関東	35,500～38,000	値上がり
名古屋		37,000～38,500	様子見
関西	大阪	37,000～38,500	様子見
	姫路	37,000～37,500	様子見

関西テnder、H2・FAS39,005円で落札 地区買値を上回る結果に

関西鉄源連合会（会長＝黒川友二・扶和メタル会長）は16日（火）、第99回共同輸出入札を行い、JFE商事がH2・FAS1ト当たり39,005円（5,000ト）で落札した。積み期は21年2月19日～4月15日まで。応札件数は5社5件で3社辞退。10日の関東テnderに比べて266円安となりつつも、地区中心値を上回ってきたことで、市中での底離れに対する期待は広がりつつあるようだ。

旧正月休暇によって、新規輸出商談に目立った進展はないが、トルコを中心とした海外市場は底入れから反発へと向かっている。旧正月明けの新規輸出商談への期待感が今テnderに反映されたと見られるが、東西ともにH2・FAS39,000円を超える結果に対して、市場では予想以上と受け止める声が多い。

東日本の急速な値戻しを受け、地区内でも市況は落ち着きを取り戻し、H2実勢37,500円中心（一部上値38,500円）を保合っている。下げ不安の後退によって、市中の出荷ペースが鈍化気味へ振れつつあるなかで、今テnderの結果が荷動きにさらなる影響を及ぼすと見られ、「メーカーは一定の入荷を要するだけに、実勢圏内での値戻しをもたらす材料になり得るのでは」（ヤード業者筋）との見方を強めている。

【関東地区】 値上げ散発し堅調さ持続

関東市場では、堅調な相場展開が続いている。相場が反発に転じてから、市中スクラップの荷動きが低迷しており、需要家筋は購入価格を引き上げて引き合いを強めざるを得ない状況となっている。2月16日時点の関東市場のH2炉前実勢価格は35,500～36,500円中心、高値37,000～38,000円見当。H2浜値は36,500～37,500円中心へと続伸した。電炉買値と浜値がほぼ同水準に並んでいる。HS浜値は船積み集中でより強含み気配だ。

【東海地区】 市中の先安観解消し様子見気配

名古屋地区の鉄スクラップ市況は様子見気配。地区電炉筋の購入価格は今月3日からの500円下げを最後に変化は見られない。足元は「入荷が極端に悪化しているわけではないが、好調とは言えないメーカーも出始めている」（商社筋）とする指摘もある。2月16日時点のH2炉前実勢価格は37,000～38,500円中心で約2週間に渡って横ばい推移している。先行下げで割安感があつた湾岸集荷筋の一部には集荷価格を上げる動きも見られる。

【関西地区】 入荷落ち着き気配でタイト化の兆しも

大阪地区の鉄スクラップ市況は様子見商状。複数電炉筋が在庫余力を抱えた状態のまま月後半入りを迎えるつつも、関東や地区湾岸の上昇が荷動きに一定の歯止めをかけ、徐々にタイト化へと向かいつつあるようだ。湾岸の値戻しに加え、東西テnderが地区炉前を上回ったことが上昇の期待にも繋がっている。2月16日時点のH2炉前実勢価格は、大阪地区が37,000～37,500円中心、一部高値38,500円。姫路地区が37,000～37,500円中心。

（※価格、数量等は日刊市況通信社調べ、2月16日午前時点のもの）

行事予定

－ 3月の主な行事予定－

■3月1日(月)

・J-FAR(事例集) 最終報告会

■3月4日(木)

・九州ブロック会議

■3月9日(火)

・第4回 ブロック長会議

・J-FAR(事例集) 定例会

■3月10日(水)

・第2回

解体インセティブ検討WG

■3月12日(金)

・第12回 広報部会

※急遽、日程の
変更・延期の場合がございます。

お知らせ

自動車再資源化協力機構(自再協)よりお知らせ

「回収ケース引き渡し時には引渡対象車台リストを収納してください」

近年、ケース内のエアバッグ類と移動報告の不一致により指定引取場所で引取拒否となる事案が増加しております。引取拒否となった場合には返却に伴う運搬費用等を請求させていただくことになります。

こうした事案を防止するため、エアバッグ類を引き渡す際には、必ず「引渡対象車台リスト」を回収ケース内に収納するようお願いいたします。

http://www.jarp.org/pdfs/information/20210129_ab_information.pdf

編集後記

「災害は忘れた頃にやって来る」とは物理学者、また防災学者としても名を馳せた寺田寅彦先生の警句です。

東北地方に住む我々にとって2011年3月11日に起きた東日本大震災は決して忘れることはありませんが、2月13日の夜にまたしても福島県沖で震度6強の地震が発生しました。あれから約10年の年月が経ちますが、大きな揺れを感じていると3.11の体験が昨日のように蘇ってきます。幸いにして津波は回避できたようですが、それ相応の被害はあったようです。被害に遭われた皆様に置かれましては心からお見舞い申し上げます。

さて、都市圏ではコロナ拡散防止対策として緊急事態宣言が発動中ですが、それにもめげず機構本部は粛々と活動を行っております。特に自動車リサイクル法の見直しに関しては審議会等で積極的な意見具申を行っています。道程はとてつもなく困難ではありますが、ことは我々業界の将来に関わることでもありますので、酒井代表を筆頭に関係者一同は今後も粘り強く上申して行きます。なおこの紙面上でもできる限りの情報公開してゆく所存です。

(広報部会 部会長 永田 則男)